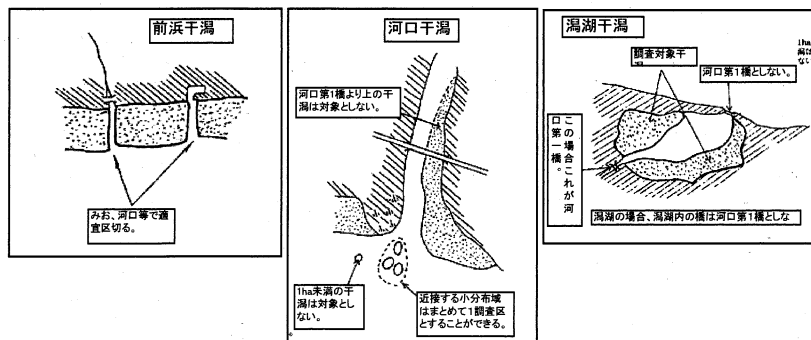


表 3.2 主要な干潟の概要

対象海域名称	都道府県	干潟名称	干潟タイプ					底質				面積 (ha)
			前浜	河口	潟湖	人工 干潟	その他	礫	砂	砂泥	泥	
響灘・周防灘	山口県	黒崎	○							○		54.0
響灘・周防灘	山口県	黒羽山		○						○	○	57.0
響灘・周防灘	山口県	津布田	○							○		35.0
響灘・周防灘	山口県	埴生(上市)	○							○		114.0
響灘・周防灘	山口県	埴生干拓沖	○							○		69.0
響灘・周防灘	山口県	王喜干拓沖		○					○	○		68.0
響灘・周防灘	山口県	王喜		○					○	○		475.0
響灘・周防灘	山口県	王司		○					○	○		218.0
響灘・周防灘	山口県	才川	○							○		21.0
響灘・周防灘	山口県	有帆川尻		○						○	○	13.0
響灘・周防灘	山口県	高泊干拓沖		○						○	○	105.0
響灘・周防灘	山口県	厚狭港		○						○	○	116.0
響灘・周防灘	福岡県	吉富	○						○	○		178.9
響灘・周防灘	福岡県	宇島	○						○	○		161.2
響灘・周防灘	福岡県	松江・八屋	○						○	○		169.6
響灘・周防灘	福岡県	椎田	○					○				74.2
響灘・周防灘	福岡県	稲童	○					○				56.2
響灘・周防灘	福岡県	長井	○						○			117.5
響灘・周防灘	福岡県	養島	○	○					○			208.8
響灘・周防灘	福岡県	白石	○						○			157.5
響灘・周防灘	福岡県	新浜町		○							○	5.9
響灘・周防灘	福岡県	曾根	○						○			499.2
響灘・周防灘	福岡県	今津	○						○			13.8
響灘・周防灘	福岡県	今津	○						○			30.2
響灘・周防灘	福岡県	柄杓田	○							○		9.1
響灘・周防灘	福岡県	喜多久	○						○			1.3
響灘・周防灘	福岡県	大積	○						○			23.9
響灘・周防灘	福岡県	浜方	○						○			4.8
響灘・周防灘	大分県	平松	○						○			722.8
響灘・周防灘	大分県	高砂新田	○					○				496.2
響灘・周防灘	大分県	浜高家	○					○				124.8
響灘・周防灘	大分県	宮熊	○						○			352.4
響灘・周防灘	大分県	和間	○						○			109.0
響灘・周防灘	大分県	桂		○					○			21.9
響灘・周防灘	大分県	大塚	○									867.4
響灘・周防灘	大分県	桂	○						○			12.8
響灘・周防灘	大分県	田深	○						○			5.3
響灘・周防灘	大分県	浜田	○						○			30.0
響灘・周防灘	大分県	尾鷲	○						○			119.5
響灘・周防灘	大分県	羽根	○						○			6.4
響灘・周防灘	大分県	香々地	○						○			17.2
響灘・周防灘	大分県	堀切	○						○			17.9
響灘・周防灘	大分県	尾崎	○						○			4.6
合計												5,965.3

- 注1) 対象干潟 ・高潮線と低潮線に挟まれた干出域の最大幅が100m以上であること。
・大潮時の連続した干出域の面積が1ha以上であること。
・移動しやすい底質(砂、礫、砂泥、泥)であること。
- 注2) 干潟タイプ 下図のとおり前浜干潟、河口干潟、潟湖干潟及びその他(人工干潟等)に分類される。
- 注3) 調査区設定方法
現在干潟の調査区設定・面積等の把握の際には、原則同タイプの干潟が連続的に分布する範囲(分布域)を1調査区とする。ただし、分布域が長大な場合は河口、みお、航路、岬角等の地形で適宜区分することができる。各タイプの調査区設定は区分基準(下図のカッコ内)に準ずる。



- 注4) 底質: 礫: 粒径2mm以上
砂: 0.1~2mm
泥: 0.1mm以下
砂泥: 砂と泥の混合

表 3.3 主要な藻場の概要

対象海域 名称	都道府県	藻場名称	藻場タイプ									疎密度	面積 (ha)
			アマモ 場	ガラモ 場	コンブ 場	アラメ 場	ワカメ 場	テング サ場	アオ サ・ア オノリ 場	その 他	不明		
響灘・周防灘	山口県	高泊干拓干潟	○									密生	3.0
響灘・周防灘	山口県	厚狭港干潟	○									密生	6.0
響灘・周防灘	山口県	満珠島		○		○	○			○		密生	1.0
響灘・周防灘	山口県	干珠島		○		○	○		○	○		密生	1.0
響灘・周防灘	山口県	中野崎		○								密生	5.0
響灘・周防灘	山口県	中野崎		○		○						疎生	1.9
響灘・周防灘	山口県	加茂島		○		○						密生	2.6
響灘・周防灘	山口県	串本岬		○					○			密生	7.0
響灘・周防灘	山口県	小島、来留見瀬、中瀬、福江		○		○			○			密生	239.9
響灘・周防灘	山口県	村崎鼻		○			○			○		密生	43.0
響灘・周防灘	山口県	黒崎、坂田、崎山		○		○	○					密生	36.0
響灘・周防灘	山口県	金比羅		○								密生	24.0
響灘・周防灘	山口県	彦島大橋		○								濃生	9.0
響灘・周防灘	山口県	竹ノ子島		○								濃生	19.0
響灘・周防灘	山口県	六連島		○		○						疎生	17.9
響灘・周防灘	山口県	壇之浦		○		○				○		密生	2.0
響灘・周防灘	山口県	巖流島		○			○	○		○		濃生	1.0
響灘・周防灘	山口県	弟子待町					○	○				密生	1.0
響灘・周防灘	山口県	福浦港		○		○	○	○				密生	2.0
響灘・周防灘	福岡県	吉富							○			密生	115.0
響灘・周防灘	福岡県	三毛門							○			密生	15.2
響灘・周防灘	福岡県	宇島							○			密生	39.2
響灘・周防灘	福岡県	柄杓田							○			密生	1.6
響灘・周防灘	福岡県	藍島		○								密生	30.5
響灘・周防灘	福岡県	藍島				○						濃生	226.3
響灘・周防灘	福岡県	古敷岩		○								濃生	22.1
響灘・周防灘	福岡県	馬島				○						密生	59.2
響灘・周防灘	福岡県	和合良島				○						密生	8.3
響灘・周防灘	福岡県	白州				○						密生	238.1
響灘・周防灘	大分県	高砂新町							○			密生	235.0
響灘・周防灘	大分県	乙女新田							○	○		密生	97.0
響灘・周防灘	大分県	浜富家							○	○		密生	96.0
響灘・周防灘	大分県	鍋島							○			密生	355.0
響灘・周防灘	大分県	今津							○			密生	8.0
響灘・周防灘	大分県	平松							○			密生	622.0
響灘・周防灘	大分県	大塚							○	○		密生	568.0
響灘・周防灘	大分県	和間							○	○		密生	119.0
響灘・周防灘	大分県	羽根		○		○		○				濃生	8.0
響灘・周防灘	大分県	小池		○								濃生	8.0
響灘・周防灘	大分県	小林		○		○		○				密生	6.0
響灘・周防灘	大分県	小林		○				○	○			密生	10.0
響灘・周防灘	大分県	磯						○	○			密生	4.0
響灘・周防灘	大分県	尾鷲		○					○			密生	4.0
響灘・周防灘	大分県	金屋							○			密生	2.0
響灘・周防灘	大分県	金屋		○				○	○			密生	15.0
響灘・周防灘	大分県	長崎鼻		○		○	○	○				密生	18.0
響灘・周防灘	大分県	尾崎		○			○	○				密生	9.0
響灘・周防灘	大分県	松津		○			○	○				濃生	10.0
合計													3,371.8

注1) 対象藻場 ・面積が1ha以上であること。
・水深が10m以浅に分布すること。

注2) 藻場タイプ アマモ場: アマモ、コアマモ等が代表種(優占種)となっている藻場。
ガラモ場: ホンダワラ類・ウミトラノオ等が代表種(優占種)となっている藻場。
アラメ場: アラメ・カジメ・クロメ等が代表種(優占種)となっている藻場。
ワカメ場: ワカメ・ヒロメ等が代表種(優占種)となっている藻場。

注3) 疎密度: 濃生: 海底面がほとんど植生で覆われている。
密生: 海底面より植生の方が多い。
疎生: 植生より海底面の方が多い。

出典: 環境省 (第5回自然環境保全基礎調査 平成9~13年度)

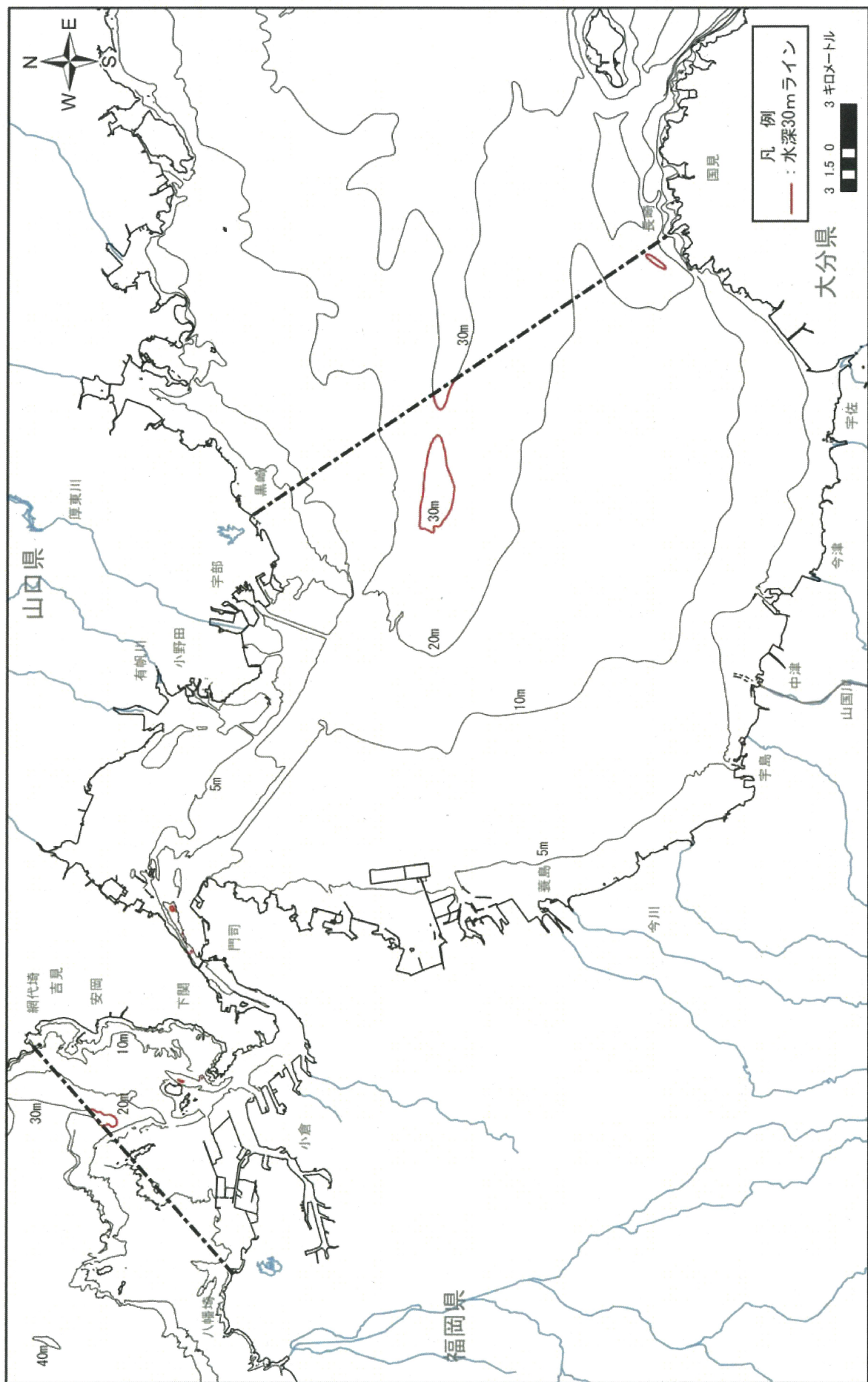
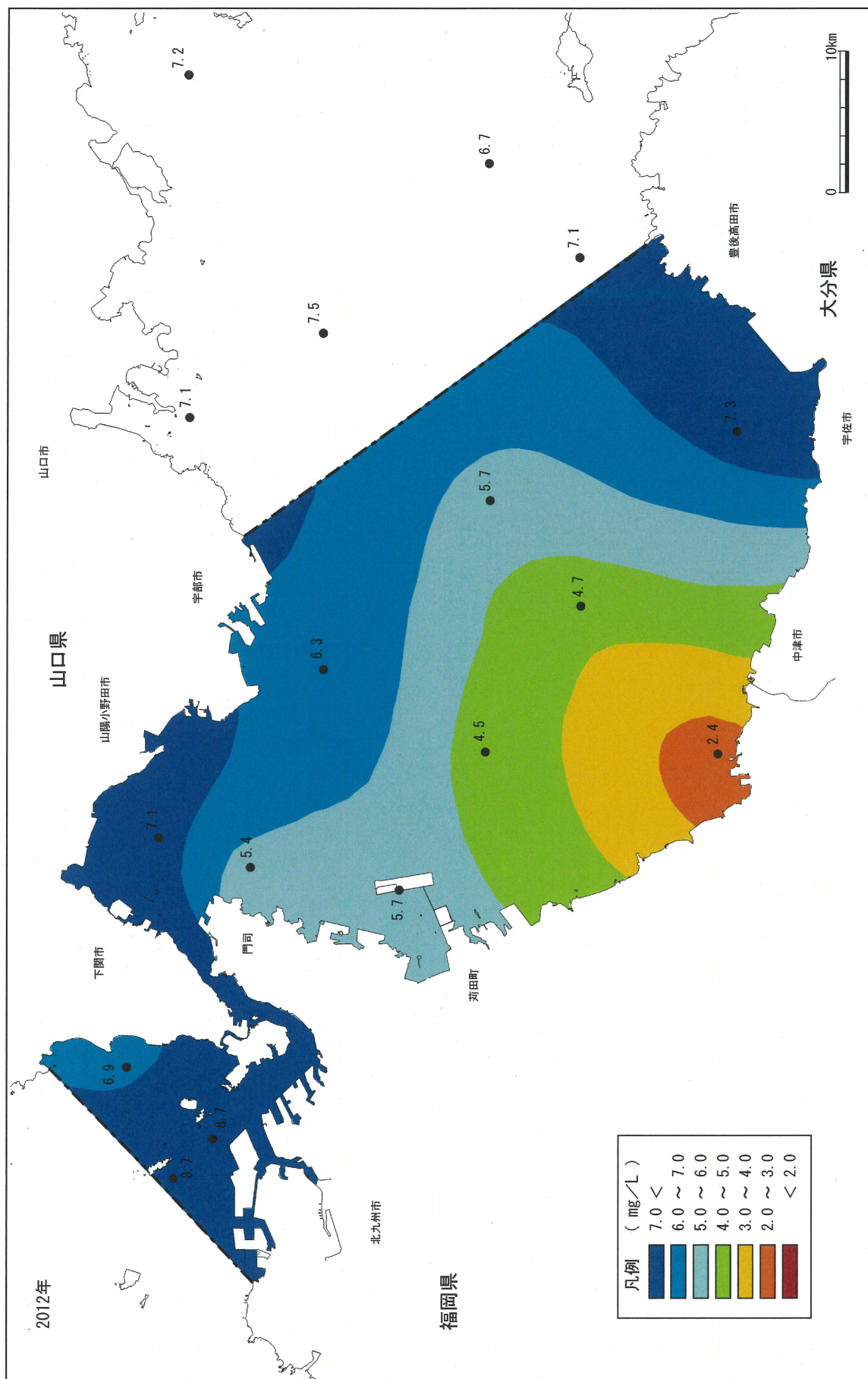


図 3.7 主要浅場



注1) 平成20~25年の夏季底層DOのうち、DO濃度分布が最も悪化した平成24年を掲載した。

注2) 測定位置：海底直上1m 出典：環境省広域総合水質調査結果

図3.8 夏季底層DOの分布状況（平成24年）